



目標・希望・友達

令和7年 3月17日
長崎市立女の都小学校
校長 佐藤 和幸

3月も中旬となりました。今日は朝から雪が舞うという厳しい寒の戻りとなりましたが、季節は春、「令和6年度」ももうすぐ終わります。女の都小学校でも、明日18日（火）には第49回卒業証書授与式、24日（月）には修了式の後に離任式が予定されています。新しい門出を迎える皆さんに、これまで女の都小学校のために頑張ってくれたことに対する感謝の気持ちを伝えたいと思います。



ご卒業 おめでとうございます

令和7年3月18日火曜日、18名の子供たちが女の都小学校を卒業します。ランドセルが大きく見えるほど小さかった子供たちが、小学校の6年間で、心身ともに大きく成長しました。6年生の保護者の皆様は、明日の卒業式で、その思いをより強くされるのではないかと思います。子供たちは、学校や家庭、そして地域の中で多くのことを学び、多くのことができるようになりました。全員、女の都小学校の卒業生として胸を張れる子どもたちです。この数日間、6年生の子供たちは、休み時間にお世話になった先生方へお礼をしていました。また、今日は毎朝校門前で交通安全指導をしてくださっている方へ6年間のお礼をしました。

卒業式には、5年生が在校生代表として出席します。女の都小学校で学び、特にこの1年間は女の都小学校のリーダーとして頑張ってくれた卒業生の卒業を5年生とともに心から祝いたいと思います。1年生から4年生は、休みとなります。学級担任より、明日の過ごし方について指導をしていますので、よろしくお願ひします。

5年生へバトンタッチ

明日、3月18日に6年生は卒業します。19日からは、5年生が実質的に女の都小学校の最高学年となります。3学期は、最高学年への助走期間として、6年生に代わって集会や行事のリーダーとして活動しました。5年生は15名と女の都小学校でも一番人数が少ない学年ですが、一人一人が自覚を持って行動しています。

本日は卒業式の会場設営をしましたが、先生の指示をよく聞き、次に何をするかを考えながら行動する姿が見られました。女の都小学校の伝統を引き継ぎ、立派な6年生になってくれるものと思います。

